

環境に優しい活動支援

京都市「エコ学区」認定式



「エコ学区」の認定書を門川市長(左)から受け取る学区の代表者(京都市中京区・市役所)

地域単位で環境に優しい取り組みを先進的に行う「エコ学区」の認定式が29日、京都市

中京区の市役所であり、市から14地域が認定を受けた。来年度末まで市が支援し、こみ

の減量やマイカー利用の自粛を地域ぐるみで行っていく。

エコ学区の認定は本年度から始まり、15地域から事業の提案があった。市は11区3支所から1カ所ずつの計14地域を認定した。

有隣学区(下京区)

ではLED照明を祭りに活用し、藤城学区(伏見区)ではエコクッキング教室を開く。山科区は13学区全域で認定を受け、落ち葉を使つた肥料作りに取り組む。

事業費として市がそ

れぞれ100万円を上限に負担し、各学区でエコ活動に取り組む。

この日、市役所に各地域の代表が集まり、門川大作市長から認定書を受け取った。

認定された学区は次の通り。

北区 紫竹▽上京区 春日▽左京区 松ヶ崎▽中京区 朱雀第四▽東山区 今熊野▽山科区全域▽下京区 有隣▽南区 九条▽右京区 梅津▽西京区 松尾、境谷▽伏見区 下鳥羽、藤城、春日

(竹下大輔)